

林業相談

## 庭木の剪定の方法と時期

問 庭木の剪定の方法と時期についてお知らせください。

(岩見沢市 T生)

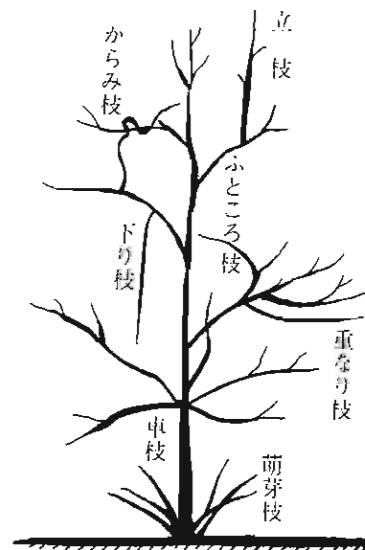
答 剪定とは 鋏や鋸を使用し目的に添わないような都合のわるい枝を切って姿、形を整えることと定義されています。もともと剪定は17世紀にフランスの果樹園芸でおこなわれていた技術を造園の方にとり入れたもので庭の中に剪定によって自然に近い環境をつくるようになりました。剪定と刈りこみを同じように考えている人もいますが、剪定は枝を切ってその特性を出し調和をとることであり、刈りこみは枝と葉を切って一定の線にそって切ることですから意味が異なります。

剪定の前にすること まず庭全体のバランスを考え、剪定しようとする樹木の性質を知ることが大切です。例えば日当たりを好むもの、日陰につよい樹木、あるいは大きくなる木、ならない木、常緑か落葉か、さらに剪定に耐えられる樹木かどうかなどがあります。

どんな枝を剪定するか 一番先に除かれる枝は病気や虫害におかされた枯枝です。次に日が当たらずに将来美しさをそこねるような立枝、からみ枝、ふところ枝、重なり枝のほか萌芽枝などが対象になります。特に庭木は車枝を嫌いますから若木時代から車枝にならないよう仕立てることです(図参照)。

剪定の仕方 剪定には強剪定、中剪定、軽剪定のほか矯正剪定があります。一般に強剪定は樹木が弱りますから特別のとき以外はやりません。

中剪定は毎年のびた枝の $\frac{1}{3}$ 程度に切り戻しをし、花をつけるものであれば結果枝の $\frac{1}{2}$ ぐらいを切ります。また軽剪定はのび枝をほんの少し切る程度です。なお矯正剪定は全体のバランスをとるだけの剪定でよいわけです。切るところは芽の直上であることを忘れないことです。



一般に剪定される枝の名前

剪定の時期 樹木の生長が休止しているときがよく、特に春の生長の早いモミジ類、サクラ類、ウメなどは3月上旬まで、その他の樹木は3月末で終るようにすることです。なお針葉樹は生長をはじめるのがおそいので4月上旬まで剪定してもよいでしょう。次に夏剪定ですが特別に枝が繁茂したものについては6月中旬から7月上旬の生長の停止期におこなうとよいでしょう。秋剪定は寒さに向っていく季節ですから切ることですにより樹木が弱るので切らない方がよろしいでしょう。

(樹芸樹木科 中内武五郎)